

7月の主な行事



- | | |
|------------------|------------------|
| 1日 : 国民安全の日 | 14日 : 検疫記念日 |
| 2日 : 半夏生 | 15日 : お盆 |
| 7日 : 七夕・小暑・ゆかたの日 | 16日 : 海の日 |
| 10日 : 納豆の日 | 23日 : 大暑・ふみ月ふみの日 |
| 11日 : 世界人口デー | 25日 : かき氷の日 |



今月のかわら版 : 1 「空飛ぶ車」

今年の4月にニューヨーク・マンハッタンで開催された「ニューヨーク国際自動車ショー」において、空飛ぶ自動車として発表された「トランジション (Transition)」が話題となっています。

開発した企業は「テラフugia」社。航空機のベンチャー企業です。トランジションは折りたたみ可能な主翼を持っており、長さ8メートルの主翼を伸ばせば小型飛行機、主翼をたためば幅2.3メートルの地面を走る通常の車に変身します。

定員は2名、自動車としての最高時速は104km、燃費は12.7km/1ℓ、飛行機としては時速185キロ、航行可能距離787キロ (!) と十分実用可能な数値にみえますが、実際には離陸する為には700メートル以上の滑走路が必要になるなど、実用化にはまだまだ問題点も多くそうです。実際に上空をたくさんの飛行体が飛ぶようになったら、飛んでいる飛行機自体のみならず、地上で生活する側にもたくさんの新たなリスクが出てくる可能性がありますね。

販売価格は日本円にして約2300万円ですが、アメリカでは予約が殺到しているようです。日本では規制があるため、すぐに市場に登場することは無さそうですが、いよいよ人間の移動手段として「空を飛ぶ」時代が間近に迫ってきたのかも知れません。



大むかしから、人類にとって空を飛ぶことは夢であり、ライト兄弟も子どもの頃からの夢を実現させました。近い未来には現在の自動車に代わり、一家に一台陸空両用の自動車が車庫にある時代が来たら、私たちの生活環境も大きく変わってくるでしょう。

今月のかわら版 : 2 「竜巻から身を守る」

平成18年9月宮崎県延岡市、同年11月北海道佐呂間町で竜巻が発生した際、多くの死傷者が出ました。また今年5月6日にも茨城県・栃木県で発生し、被害をもたらしました。そこで、突発的な発生に備えて、竜巻から身を守る方法をご紹介します。



竜巻注意情報

竜巻などが予想される場合、気象情報を発表して半日から1日程度前に「竜巻など激しい突風のおそれ」という表現で注意喚起します。発生が予想される数時間前には雷注意報の中で「竜巻」と明記します。さらに、今まさに竜巻などの激しい突風が発生しやすい状態となったときに防災機関、報道機関、気象庁ホームページなどで、「竜巻注意情報」を公表します。

空の観察

「竜巻注意情報」発表後、すぐに避難が必要なわけではありません。まずは、空を見てください。周りの天気が左記のように変わってきている場合には頑丈な建物に移動するなどの安全確保が必要です。

空の変化

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷が見えたりする。
- ひやっとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨やひょうが降り出す。

竜巻から身を守る

- 頑丈な建物の中に早めに避難をして、窓ガラスから遠く離れる。
※物置や車庫、プレハブの中は危険。
- 一般の住宅では戸戸、窓やカーテンを閉め、窓のない部屋に移動したり、丈夫な机やテーブルの下に入ったりして身を守る。
- 屋外にいて周辺に身を守る建物がない場合には、水路などくぼんだところに身を伏せて両腕で頭や首を守る。